

水害や土砂災害から自らの命、家族の命を守るために！

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

ステップ ①

自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

- 知多市が作成しているハザードマップや地域防災計画を見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所ではないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 知多市が指定している避難場所※1を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。
- ホームページ等で危険性や避難場所の確認ができない場合は、防災危機管理課までお問い合わせください。(裏面)



※1 災害種別ごとに異なりますので、ご注意ください。

ステップ ②

知多市から発令される避難情報※2について確認しましょう。

- 知多市から発令される避難情報には、以下のものがあります※3。

避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難準備・

高齢者等避難開始

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)は避難を開始しましょう。

避難勧告

- 避難場所へ避難をしましょう。
- 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。

避難指示 (緊急)

- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難をしましょう。

※2 避難情報の入手方法については、裏面をご確認ください。

※3 必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

ステップ ③

もしもの時に備えて考えておきましょう。

- 例えば、以下のような状況も考えられることから、緊急的な対応について、事前に考えておきましょう。

例1: 大雨等により、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物(最上階が浸水しない建物、川沿いでない建物等)に移動しましょう。

例2: 外出すら危険と思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋(上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋)に移動しましょう。

知多市からの防災情報

□ 知多市の防災ウェブサイト

<http://city.chita.lg.jp/>

知多市内の防災情報について掲載しています。
 なお、電子メールによる防災情報の配信サービスもございますので、この機会にご登録ください。



<登録方法>

右側のQRコードを読み取っていただくか、
<http://www.chitamaru.jp/i/anzen/>へアクセス。
 または「ちたまる安全安心メルマガ」で検索してください。



「いざという時の防災ラジオ」メディアスエフエム(83.4MHz)はスマートフォン・タブレットのアプリでも聴取可能です。

ダウンロードはこちら→



←



←

□ 防災無線や広報車等

IOS

Android

防災無線や広報車等を使用し、情報をお伝えしています。



その他の機関からの防災情報

□ 愛知県の防災ウェブサイト

<http://www.pref.aichi.jp/bousai/>

愛知県内の防災情報について掲載しています。

□ 気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp>

警報・注意報、台風情報、解析雨量など、気象庁が発表している防災気象情報を掲載しています。



□ 国土交通省防災情報提供センター

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

警報・注意報、気象情報、河川情報、降水ナウキャスト等を掲載しています。



□ テレビ

ニュースや天気予報番組だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送しております。